

今 蒲生岳山開き
年 年も大勢の登山者で山頂は大賑わい



▲ 登山者による山頂での安全祈願

6月7日、蒲生岳山開きが行われ、曇り空のなか150人の登山客で賑わいました。このイベントは今回で11回目を数え年々参加者も増加しています。

開会式前に神事を行い、そこで祈願されたサカキとお札を山頂の「ほこら」まで持って登り、山開きが安全に成功するよう祈願しました。

登山客からは「登りやすい登山道を整備していただいた地元の方々に感謝します。来年も登りたいです」と喜びの声も聞かれました。

ど しめ飾り用イワシバを採取
ん んなしめ飾りができるかな～？



▲ 丁寧にイワシバを採る参加者

只見地区センターでは、しめ飾り用イワシバの採取を6月20日に只見スキー場で行い、7名の参加者がイワシバを採りました。そのあと地区センターで選別、この材料からできるしめ飾りを今から楽しみにしています。イワシバは、10日間、陰干しで乾燥させ、12月に開催予定の「しめ飾りつくり講座」で正月用のしめ飾りをつくる予定です。



▼ 会津朝日岳山開き(6月14日)



夏山シーズン到来!
会津朝日岳・浅草岳山開き



▲ 浅草岳山開き(6月28日)

旬 山の幸山菜まつり
の 山菜とおいしい料理に舌鼓



▲ 大勢の参加者が詰めかけたまつり会場

6月7日、塩沢農村公園で山菜まつり実行委員会が主催する「第13回山の幸山菜まつり」が行われました。

当日は雨模様でしたが、大勢の参加者がわらび園で山菜を採り、その後農村公園で実行委員会が準備した山菜汁、山菜てんぷら、岩魚てんぷら、地酒などを堪能しました。また、わらびの灰汁だし、塩漬けの実演コーナーでは、参加者が興味深く見入っていました。

「おもいやりの心」を育てよう

スクールバスが人権意識の高揚に一役

町では、福島県の補助を受けスクールバスを利用した人権思想の啓発活動を行っています。

町内を運行しているスクールバスのうち3台の車両の側面や後ろ側には「育てよう一人一人の人権意識」「思いやりの心」「かけがえのない命を大切に」などとメッセージが掲げられ、走りながら人権の大切さや尊さを訴えています。

このバスを目にしたときは、少しの間、人権について考えてみてください。



▲ メッセージを掲げ運行するスクールバス



▲ 立ち寄りやすく、飲みやすくなった滝神社清水

おいしい只見の清水を飲みやすく

滝神社清水を整備

只見の銘水10選のひとつ、滝神社清水の周辺がこのほど、清水を求めて来られる方々が飲みやすいようにと整備されました。これは、只見区の有志の皆さんで行ったもので、とてもきれいになり、さらにおいしく、気持ちよく、清水が味わえる環境が整いました。一度、出かけてみてください。



▲ 激しいゆれに耐える高学年の児童

震度7でもあわてず避難できる?

只見小学校児童が地震体験

6月22日に只見小学校の児童81名が地震体験車での震度体験活動を行いました。1年生から順番に4人ずつ起震車に乗り、震度7のゆれを体験しました。高学年は最高レベルの関東大震災並みのゆれまで体験し、その激しさに言葉を失っていました。

6年生の児童は、映像を見ながら地震の怖さを体験できて良かった。本当の地震が来てもあわてずに行動したい。などと感想を話していました。

歩くことが健康への第一歩

さなぶり健康ウォーキング

朝日地区センター運営委員会では、6月7日に「さなぶり健康ウォーキング」を行いました。これは、歩くことの習慣づけに役立てようと今回、初めて企画したものです。

参加者は16名と少人数でしたが、3歳から73歳まで幅広い参加となり、朝日地区センターを発着地に万歳橋、荒島、一ノ坪を回る、全長5キロメートルの道のりを思い思いのペースで完歩しました。

ゴールのあとは、温かいなめこ汁とおにぎりなどで体を温めました。



▲ 歩こ〜う♪ 歩こ〜う♪ 歩くの大好き〜♪